

エコアクション21

環境経営レポート

【 2019年度 】



(対象期間：2019年4月1日～2020年3月31日)

2020年6月20日

(次回発行予定日：2021年6月20日)



双葉建設株式会社

【 目 次 】

- ・ 環 境 経 営 方 針 ・ ・ ・ ・ ・ 1
- ・ 事 業 活 動 概 要 ・ ・ ・ ・ ・ 2
- ・ 事 業 内 容 ・ ・ ・ ・ ・ 3～5
- ・ 環 境 経 営 目 標 設 定 書 （ 中 長 期 ） ・ ・ ・ 6
- ・ 環 境 経 営 計 画 （ 2019 年 度 ） ・ ・ ・ ・ ・ 7
- ・ 環 境 経 営 計 画 の 取 組 結 果 と 評 価 ・ ・ ・ 8～11
- ・ 次 年 度 の 環 境 経 営 計 画 （ 2020 年 度 ） ・ ・ ・ 11
- ・ 環 境 関 連 法 規 制 の 遵 守 状 況 ・ ・ ・ ・ ・ 12
- ・ 代 表 者 に よ る 全 体 の 評 価 と 見 直 し 結 果 ・ ・ ・ 12
- ・ 環 境 経 営 実 施 状 況 ・ ・ ・ ・ ・ 13～17
- ・ 緊 急 事 態 発 生 訓 練 ・ ・ ・ ・ ・ 18
- ・ 社 内 外 活 動 ・ ・ ・ ・ ・ 19
- ・ 地 域 の 環 境 保 全 活 動 （ 地 域 貢 献 ） ・ ・ ・ 20
- ・ 表 彰 関 係 ・ ・ ・ ・ ・ 21
- ・ 環 境 実 績 グ ラ フ ・ ・ ・ ・ ・ 22

双葉建設株式会社

環境経営方針

環境理念

当社は、地球規模での環境悪化に対し、その保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、事業活動において、環境に配慮した循環型社会の構築に貢献します。

活動指針

当社は滋賀県地域を中心とした土木建設、地質調査等の事業を行っています。この事業活動における環境への影響を理解し、環境経営を優先課題と位置づけて、社員と協力しエコアクション21の環境経営システムを構築運用します。なお、システムの継続的改善と汚染の予防に努め、以下の事項について自主的、積極的に取り組みます。

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 環境目標を定め、定期的に見直し継続的改善に努めます。
3. 環境負荷を軽減するため、次の活動を実施します。
 - 化石燃料等の削減に努め、地球温暖化防止に取り組みます。
 - 事業活動に伴う廃棄物のリユース・リサイクルに努めます。
 - 使用する資材のロスを減らし、無駄な資材を購入しない事に努めます。
 - 省資源に努め、使用する水を削減します。又、建設現場における濁水管理に努めます
 - 事業活動において、環境に配慮した作業方法の推進に努めます。
 - 化学物質の確実な管理に努めます。
 - 環境配慮商品(グリーン購入等)の推進に努めます。
 - 地域に密着した環境への貢献活動を推進します。

制定日：2007年2月1日

改訂日：2019年4月1日

滋賀県甲賀市甲南町池田3446番地3

双葉建設株式会社

代表取締役

山本善浩

事業活動概要



会社名 双葉建設株式会社

代表者 代表取締役 山本善浩

所在地 〒520-3302
滋賀県甲賀市甲南町池田3446番地3
TEL 0748-86-2616 FAX 0748-86-6816



双葉建設㈱本社

設立(創業)年月

昭和 35年 2月 創業
昭和 41年 3月 設立

事業の規模 (2019年度)

資本金 2100万円
従業員 22名
売上高 569 百万円/2019年
事務所床面積 462.30m² 試験室棟床面積 130.00m²
倉庫床面積 458.13m² 資機材置場面積 700.00m²



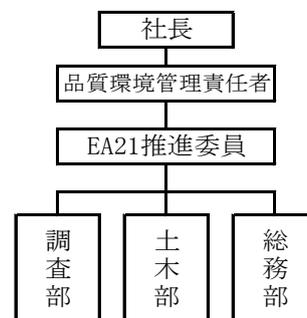
本社 土質試験室棟

環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者 田村 久美子
EA21推進委員 山本 早映
間瀬戸 究
堅田 真路
中村 清楓
頓宮 千渉

TEL 0748-86-2616 FAX 0748-86-6816

【取組組織】



登録許可

建設業

土木一式工事
とび・土工、コンクリート工事
水道施設工事
舗装工事
さく井工事

地質調査業

測量業

補償コンサルタント

ISO9001認証取得

SOCOTEC CERTIFICATION INTERNATIONAL CN/2375

エコアクション21認証取得

1904

滋賀県知事許可特定30018号
滋賀県知事許可特定30018号
滋賀県知事許可特定30018号
滋賀県知事許可特定30018号
滋賀県知事許可一般30018号
国土交通大臣登録 第569号
国土交通大臣登録第13406号
国土交通大臣登録 第4799号

所属団体・学協会

(社)滋賀県建設業協会 ジオファイバー協会
(社)関西地質調査業協会 ノンフレーム工法研究会
(協)関西地盤環境研究センターフロテックアンカー技術研究会
(社)全国特定法面保護協会 (社)地盤工学会
滋賀県法面処理協会 (社)土木学会
滋賀県法面処理事業協同組合



土木一式工事

- 土木一式工事
- 上・下水道工事
- 河川工事
- 道路工事
- 水道施設工事



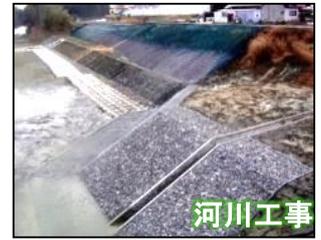
道路工事



造成工事



下水道工事



河川工事

法面保護工事

- 現場吹付法砕工
- 落石防止工
- アンカー工
- 地山補強土工
- 緑化工
- モルタル吹付



現場吹付法砕



アンカー工



補強土壁工



モルタル吹付



種子散布工



ドローンの活用

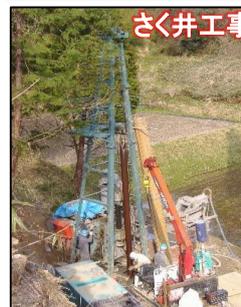


令和元年度
12月完成工事

国道306号 補助道路修繕工事(工区3)

特殊工事

- さく井工事
- 地すべり対策工事
- グラウト工事
- ボーリング工事



さく井工事



さく井工事



集水ボーリング工



グラウト工事

地質調査課

土質調査

地すべり調査

軟弱地盤調査

サンプリング

原位置試験

物理探査

地下水調査



土質試験室

平板載荷試験

スウェーデン式サウンディング試験

簡易支持力測定

現場土質管理

室内土質試験



測量

基準点測量

地形測量

用地測量

路線測量



一般調査

土壌汚染調査

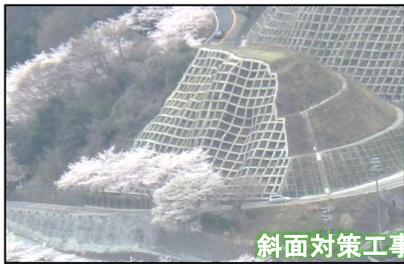
水質試験

水位観測



環境に配慮した工法

➤ BIWAソイル緑化工法



斜面对策工事



◆ECO POINT

滋賀県認定リサイクル製品

- ・BIWAソイル
- ・BIWAソイル

を使用しています！！



滋賀県認定リサイクル製品

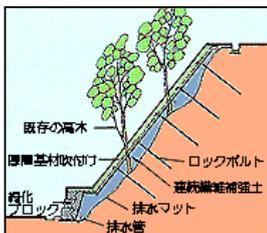
- 滋賀県内で発生した木質系廃棄物を有効活用し、急速緑化を行なうことで緑を速やかに復元するリサイクル型の緑化工法
- 従来の植生基材吹付工よりも他の植物導入(二次植生)が期待でき、ゼロエミッションの向上と経済的効果も高い新しい工法

➤ BIWAチップマルチング工法



- 滋賀県内で発生した木質系廃棄物を有効活用し、植物が生育する事を抑制するマルチング層を吹付施工により創造する工法
- 道路の見通しの確保、除草作業の軽減を目的とした工法

➤ ジオファイバー工法



- 連続繊維補強土(砂と糸だけでせん断力の強い土構造物をつくる)を用いたジオファイバー工法
- 地山補強とともに環境保全対策として樹林化はもとより、既存高木をそのまま生かすことができ、CO2排出削減や緑化・樹林化の促進といった多彩なシーンで選ばれる工法

➤ ノンフレーム工法

法面保護工事(竹生島)



- 自然斜面の緑や森林土壌を除去しないため生態系を乱さずCO2削減にも貢献し環境にやさしい工法
- 補強土材(自穿孔ロックボルト) 頭部結合材(ワイヤーロープ)から構成されています。

環境経営目標設定書(全社)

EA21コア指標	環境方針	取組項目	中長期の環境目標（2019年まで）	2017年目標	2018年目標
エネルギーの消費	化石燃料等の削減に努め、地球温暖化防止に取り組めます。	電力消費量の削減 (kwh)	総量当たり二酸化炭素排出量を2019年までに2015年・2016年平均値比 1.5 %削減する。	0.5 %削減する。	1.0 %削減する。
化石燃料等の燃焼		ガソリン消費量の削減 (単位:L)	総量当たり二酸化炭素排出量を2019年までに2015年・2016年平均値比 1.5 %削減する。	0.5 %削減する。	1.0 %削減する。
		軽油消費量の削減 (単位:L)	総量当たり二酸化炭素排出量を2019年までに2015年・2016年平均値比 1.5 %削減する。	0.5 %削減する。	1.0 %削減する。
		LPG消費量の削減 (単位:kg)	総量当たり二酸化炭素排出量を2019年までに2015年・2016年平均値比 1.5 %削減する。	0.5 %削減する。	1.0 %削減する。
廃棄物の排出・リサイクル	事業活動に伴う廃棄物のリユース・リサイクルに努めます。	分別及びリサイクルの推進 (単位:%)	建設リサイクルを2019年までに2015年・2016年平均値比 96 %以上推進する	96 %以上推進する	96 %以上推進する
水の消費量	省資源に努め、使用する水を削減します。又、建設現場における濁水管理に努めます	事業所利用水の節水 (単位:m ³)	総量当たり2019年までに2015年・2016年平均値比 100 %維持する。	100 %維持する。	100 %維持する。
排水監視		濁水防止の100%適正監視 (単位:%)	建設現場からの排水を 100 %濁水防止の適正監視する	100 %濁水防止の適正監視する	100 %濁水防止の適正監視する
環境配慮施工	事業活動において、環境に配慮した作業方法の推進に努めます。	環境配慮施工の100%維持 (単位:%)	建設重機の使用、排ガス規制車輛等で環境配慮施工を2019年までに 100 %維持する	100 %維持する	100 %維持する
原材料、部材等の環境配慮商品のグリーン購入	環境配慮商品(グリーン購入等)の推進に努めます。	グリーン製品の積極的購入 (単位:品目)	総量当たり2019年までに2015年・2016年平均値比 12品目 6 品増やす。	2 品増やす。	4 品増やす。
社会貢献活動	地域に密着した環境への貢献活動を推進します。	地域の美化活動に参加する。 (単位:回)	地域の美化活動を年 12 回以上参加する。	12 回以上参加する。	12 回以上参加する。

* 廃棄物の排出の取組項目で建設リサイクルで適正処理する環境目標を100%建設リサイクルで適正処理すると設定している

* 「建設リサイクル推進計画2014」の平成30年度目標値を基準にした、過去の建設リサイクル率は 2015年度、2016年度平均 98.6%、2017年度 97.7%になる

* 今回目標設定を「建設リサイクル推進計画2014」の平成30年度目標値の96%建設リサイクル率で設定する

環境経営計画(2019年度)

取組項目		活動計画	
二酸化炭素排出量削減	電力使用量削減	事務所	① 電気使用の時間管理【エアコン使用開始月、切る時間】 (照明・エアコン、18時以降の使用の管理、不在時の消灯) ② エアコンフィルターの掃除【使用した月に行う】 ③ LEDと研修室の使用
		現場	① 現場事務所の節電 ② 現場でのソーラー信号機・回転灯の利用
	化石燃料使用量削減	事務所	① エアコンの温度管理を行う(ACボタンを控える) ② 空気圧の確認 ③ 事務所へ行き先の事前確認・報告(忘れ物・配達物の確認) ④ オイル交換のチェック ⑤ 目標燃費の達成
		現場	① エアコンの温度管理を行う(ACボタンを控える) ② 空気圧の確認(車両修理時) ③ オイル交換のチェック ④ 目標燃費の達成 ⑤ 積み込みの工夫
廃棄物排出量削減	一般廃棄物	事務所	① 不要紙の削減(個人管理) ② ペーパーレス作業の推進(資料のPDF化など) ③ A3、両面印刷(製本印刷)の推進 ④ 備品・管理及び保管(資材を大切に) ⑤ リユース・リサイクル
		現場	① 廃棄物の分別 ② 弁当・ペットボトルなどの持ち帰り
	産業廃棄物	現場	① 建設現場から発生する産業廃棄物は分別を徹底し、リサイクル率を維持する (産業廃棄物のリサイクル・リユース、分別、処分業者の選定、資材等のリユース)
総排水量削減	全社	① 洗車時・機械等洗浄時の節水 ② 流し洗いをしない ③ 井戸水の積極的活用 ④ 蛇口の締め忘れ確認	
環境に配慮した作業方法の推進	現場	① 各現場に合った環境に配慮した作業方法を行う 《参考》 環境配慮工法の選択 地域貢献(清掃活動など) 粉塵、騒音、濁水対策	
環境配慮商品の購入推進	事務所	① 環境配慮商品の情報収集と購入	
	現場	《各現場にて》 ① 環境配慮商品の情報収集 ② 土木部:各現場で1品目以上の購入又は推進 ③ 調査部:1品目以上の購入又は推進	

※化学物質の使用量は微量の為、目標に掲げず、適正な管理を行う。

環境経営目標とその実績

2015年、2016年までの実績を自己チェック等により把握し、その結果2015年、2016年の実績値の平均値を基準値としている。尚、このレポートでは、2019年4月1日から2020年3月31日までの運用実績について取りまとめました。

次年度

方針	取組項目	年度	基準値	2019年		評価	新基準値	2020年
		単位	(実績)	(目標)	(実績)		(実績)	(目標)
化石燃料等の削減に努め、地球温暖化防止に取組みます。	電力消費量の削減 (kwh)	%		1.5	-14.3%	△		0.5
		消費量	21,234	20,915	24,265		23,938	23,818
		(kg-CO ₂)	10,532	10,374	12,035		7,995	7,955
	ガソリン消費量の削減 (単位:L)	%		1.5	5.5%	○		0.5
		消費量	12,353	12,168	11,669		12,003	11,943
		(kg-CO ₂)	28,679	28,249	27,092		27,847	27,708
	軽油消費量の削減 (単位:L)	%		1.5	5.0%	○		0.5
		消費量	9,486	9,344	9,013		9,454	9,407
		(kg-CO ₂)	24,533	24,165	23,311		24,391	24,269
	LPG消費量の削減 (単位:k g)	%		1.5	-28%	△		0.5
		消費量	33	33	42		40	40
		(kg-CO ₂)	99	98	126		120	119
二酸化炭素排出量の削減	%		1.5	2.0%	○		0.5	
	(kg-CO ₂)	63,843	62,885	62,565		60,354	60,052	
事業活動に伴う廃棄物のリユース・リサイクルに努めます。	分別及びリサイクルの推進 (単位:%)	%			1.0%	○		
		(%/年)	98.6%	96	97.0%		97	96
省資源に努め、使用する水を削減します。又、建設現場における濁水管理に努めます	事業所利用水の節水(単位:m ³)	%		100	-19.4%	△		100
		(%/年)	159.25	159.25	190.2		186.1	186.10
	濁水防止の100%適正監視 (単位:%)	%			100%	100%		
(%/年)		100	100	100	100	100	100	
	環境配慮施工の100%維持 (単位:%)	%			100%	100%		
(%/年)	100	100	100	100	100	100		
環境配慮商品(グリーン購入等)の推進に努めます。	グリーン製品の積極的購入 (単位:品目)	品目			317%	○		
		(年)	12	6	19		12	12
地域に密着した環境への貢献活動を推進します。	地域の美化活動に参加する。(単位:回)	回			108%	○		
		(以上/年)	10	12	13		12	12

目標の説明や補足事項

- 2019年度、購入電力の排出係数は2015年関西電力調整後排出係数、0.496kg-CO₂/kwhを3ヶ年間固定とする
新中期目標(2020年度~2022年度)新基準年度、購入電力の排出係数は2018年関西電力調整後排出係数、0.334kg-CO₂/kwhを3ヶ年間固定とする
- 廃棄物排出量は、事業活動からの廃棄物に対しての総排出量で管理し、建設リサイクル率%で取組みする
- 水使用量については、事務所、建設現場における総水使用量の削減について取組みする。また建設現場での濁水防止監視を100%実施する
- 化学物質の取扱いは微量のため、目標に掲げないが適正に管理する
- 環境配慮施工では、低騒音・低振動型重機や排ガス規制適合車を100%使用する
- グリーン購入は、事務用品について取組む
- 社会貢献は美知メセナや甲賀まち美化活動に参加する
- 新中期目標の新基準値は、2018年+2019年実績の平均値から算出。2020年度目標は新基準値より作成した。
- 上記の目標のほか、作業場の環境及び品質安全向上ために3S活動(整理、整頓、清掃)に取り組む
- 目標%は、基準年比削減率を記載。実績%は、基準年比増減率を記載している。
- 評価判定基準=○:目標比100%以上の場合、△:目標比100%<、70%>の場合、×:目標比70%以上未達成の場合

環境経営計画

方針	取組項目	活動計画の内容	責任部門・担当者
化石燃料等の削減に努め、地球温暖化防止に取り組めます。	電力消費量の削減 (kwh)	①電気使用の時間管理【使用開始月、切る時間(照明・エアコン、18時以降の使用の管理、不在時の消灯)】 ②エアコンフィルターの掃除【使用した月に行う】 ③LEDと研修室の活用 試験室：照明器具・試験器具のこまめなスイッチオフ【退室時・快晴日】	総務部 田村
	ガソリン消費量の削減 (単位:L)	①エアコンの温度管理を行う(ACボタンを控える等) ②空気圧の確認 ③事務所へ行き先確認・報告(忘れ物・配達物確認) ④オイル交換のチェック ⑤目標燃費の達成	総務部 田村
	軽油消費量の削減 (単位:L)	現場 ①積み込みの工夫 ②エアコンのACボタンを控えるか使用時には温度管理を行う ③空気圧の確認(車両修理時)	土木部 間瀬戸
	LPG消費量の削減 (単位:kg)	④行き先の確認・報告 ⑤オイル交換のチェック ⑥目標燃費の達成	調査部 堅田
事業活動に伴う廃棄物のリユース・リサイクルに努めます。	分別及びリサイクルの推進 (単位:%)	一般廃棄物・産業廃棄物 ①不要紙の削減(ミスプリント・不使用紙) ②ペーパーレス作業の推進 ③備品・資材の管理及び保管(資材を大切に使用する。無駄な資機材を購入しない) ④廃棄物を分別し、リユース・リサイクルを徹底する。	総務部 田村 土木部 間瀬戸 調査部 堅田
省資源に努め、使用する水を削減します。又、建設現場における濁水管理に努めます	事業所利用水の節水(単位:m ³)	①洗車時・機械等を洗った際、節水 ②水を流しながらの洗い物はしない。	総務部 田村
	濁水防止の100%適正監視 (単位:%)	①濁水防止の適正監視する	土木部 間瀬戸
事業活動において、環境に配慮した作業方法の推進に努めます。	環境配慮施工の100%維持 (単位:%)	①環境配慮施工の維持	土木部 間瀬戸
環境配慮商品(グリーン購入等)の推進に努めます。	グリーン製品の積極的購入 (単位:品目)	①事務用品のグリーン商品の購入	総務部 田村
地域に密着した環境への貢献活動を推進します。	地域の美化活動に参加する。 (単位:回)	①地域の清掃活動に参加する。	総務部 田村

取組の紹介

- 1 現場トラック・乗用車の低燃費車両の導入や環境対策型重機や機械の使用を行った。
- 2 毎年恒例の当社施工現場の見学会を行い、社員全員が現場周辺道路の清掃活動に取り組んだ。
2019年は国道306号(工区3)(犬上郡多賀町大君ヶ畑)・川合千田線(長浜市木之本町)
- 3 BIWAソイル工法(リサイクル型の緑化工法)を採用(367号工事)、桜と檜の保護(葛籠尾崎工事)
- 4 伐採木のチップ化(復旧治山工事)
- 5 低騒音機械の使用(全対象工事)
- 6 油漏れ時・給油時吸着マットの使用(調査部)、コア箱・土嚢袋等の再利用(調査部)
- 7 資機材及び備品の管理(資源大切に)(調査部)
- 8 地域貢献活動で、滋賀県道の美知メセナ活動・甲賀市道の美化活動を毎月行った。

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

方針	取組項目	年度	2019年		取組の評価	担当責任者
			(目標)	(実績)		
化石燃料等の削減に努め、地球温暖化防止に取組みます。	電力消費量の削減 (kwh)	%	1.5	-14.3%	土質室内試験が多く、電力使用量が増加したが、事務所ではルールを守り活動を行うことができた。	総務部 田村
		消費量	20,915	24,265		
		(kg-CO ₂)	10,374	12,035		
	ガソリン消費量の削減 (単位:L)	%	1.5	5.5%	各々が目標燃費を定め、エコドライブを心掛けすることにより、達成することができた。	総務部 田村 土木部 間瀬戸 調査部 堅田
		消費量	12,168	11,669		
		(kg-CO ₂)	28,249	27,092		
	軽油消費量の削減 (単位:L)	%	1.5	5.0%		
		消費量	9,344	9,013		
		(kg-CO ₂)	24,165	23,311		
	LPG消費量の削減 (単位:k g)	%	1.5	-28%		
		消費量	33	42		
		(kg-CO ₂)	98	126		
二酸化炭素排出量の削減	%	1.5	2.0%			
	(kg-CO ₂)	62,885	62,565			
事業活動に伴う廃棄物のリユース・リサイクルに努めます。	分別及びリサイクルの推進 (単位:%)	% (%/年)		1% 96		
省資源に努め、使用する水を削減します。又、建設現場における濁水管理に努めます	事業所利用水の節水(単位:m ³)	% (m ³ /年)		-19.4% 159.3	190.2	総務部 田村
	濁水防止の100%適正監視 (単位:%)	% (%/年)		100% 100	100	土木部 間瀬戸
事業活動において、環境に配慮した作業方法の推進に努めます。	環境配慮施工の100%維持 (単位:%)	% (%/年)		100% 100	100	土木部 間瀬戸
環境配慮商品(グリーン購入等)の推進に努めます。	グリーン製品の積極的購入 (単位:品目)	品目 (年)		317% 6	19	総務部 田村
地域に密着した環境への貢献活動を推進します。	地域の美化活動に参加する。 (単位:回)	件数 (件/年)		108% 12	13	総務部 田村

※目標%は、基準年比削減率を記載。実績%は、基準年比増減率を記載している。

今年度の主な取組内容

- 1 二酸化炭素排出量削減取り組みでは、省エネや車両のアイドリングストップやエコドライブ等の目標達成手段を実施した
- 2 廃棄物は分別を実施して削減に努め、建設リサイクルを推進した
- 3 水使用量の削減では車両の洗車の使用量削減に努め、建設現場での濁水防止監視を実施した
- 4 建設現場では環境配慮重機や排ガス適合車両を使用した
- 5 環境美化活動は地域の美化活動に参加した

次年度の取組内容

- 1 二酸化炭素排出量削減取り組みでは、省エネや車両のアイドリングストップやエコドライブ等の目標達成手段を実施する
- 2 廃棄物は分別を実施して削減に努め、建設リサイクル率を推進する
- 3 水使用量の削減では車両の洗車の使用量削減に努め、建設現場での濁水防止監視を実施する
- 4 建設現場では環境配慮重機や排ガス適合車両を使用する
- 5 環境美化活動は地域の美化活動に参加する
- 6 環境目標の達成取組みと共に、作業場の環境及び品質安全向上のために3S活動(整理、整頓、清掃)に取組み、意識を持って全員で実践していきたい。

次年度の環境活動計画(2020年度)

取組項目		活動計画	
二酸化炭素排出量削減	電力使用量削減	事務所	① 電気使用の時間管理【エアコン使用開始月、切る時間】 (照明・エアコン、18時以降の使用の管理、不在時の消灯) ② エアコンフィルターの掃除【使用した月に行う】 ③ LEDと研修室の使用
		現場	① 現場事務所の節電 ② 現場でのソーラー信号機・回転灯の利用
	化石燃料使用量削減	事務所	① エアコンの温度管理を行う(ACボタンを控える) ② 空気圧の確認(毎月) ③ 行き先の事前報告(忘れ物・配達物の確認・相乗り)【朝礼・行動予定表】 ④ オイル交換予定走行距離の確認と実施 ⑤ 目標燃費の達成
		現場	① エアコンの温度管理を行う(ACボタンを控える) ② 空気圧の確認(車両修理時) ③ オイル交換予定走行距離の確認と実施 ④ 目標燃費の達成 ⑤ 積み込みの工夫
廃棄物排出量削減	一般廃棄物	事務所	① 不要紙の削減(個人管理) ② ペーパーレス作業の推進(資料のPDF化など) ③ A3、両面印刷(製本印刷)の推進 ④ 備品・管理及び保管(資材を大切に) ⑤ リユース・リサイクル
		現場	① 廃棄物の分別 ② 弁当・ペットボトルなどの持ち帰り
	産業廃棄物	現場	① 建設現場から発生する産業廃棄物は分別を徹底し、リサイクル率を維持する (産業廃棄物のリサイクル・リユース、分別、処分業者の選定、資材等のリデュース)
総排水量削減	全社	① 洗車時・機械等洗浄時の節水 ② 流し洗いをしない ③ 井戸水の積極的活用 ④ 蛇口の締め忘れ確認	
環境に配慮した作業方法の推進	現場	① 各現場に合った環境に配慮した作業方法を行う 《参考》 環境配慮工法の選択 地域貢献(清掃活動など) 粉塵、騒音、濁水対策	
環境配慮商品の購入推進	事務所	① 環境配慮商品の情報収集と購入	
	現場	《各現場にて》 ① 環境配慮商品の情報収集 ② 土木部:各現場で1品目以上の購入又は推進 ③ 調査部:1品目以上の購入又は推進	

※化学物質の使用量は微量の為、目標に掲げず、適正な管理を行う。

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	適正処理
水質汚濁防止法	事故時の措置	遵守
自動車リサイクル法	廃自動車のリサイクル券	遵守
家電リサイクル法	家電リサイクル券	遵守
騒音規制法	対象特定施設の届出、規制値の遵守	遵守
振動規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
消防法	対象危険物保管の届出	遵守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の簡易点検、漏洩報告	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	適正処理
注：適用される法規制等と遵守状況は、環境関連法規等の遵守状況のチェック結果に基づき記載します。		

代表者による全体の評価と見直し結果

新入社員も増え、各部署での変動もあったが、EA推進委員などの活動を中心に展開した結果、目標をほぼ達成することができた。
2020年度は新型コロナウイルスの影響で、企業活動は制約や変動を余儀なくされることがあると思われるが、更なる環境に対する意識向上と情報収集に努めながら、環境経営を推進していく。

過去3年間の主な環境負荷の実績

	単位	2017年	2018年	2019年
二酸化炭素の排出量	Kg-CO ₂	64,931	65,198	62,565
二酸化炭素排出量原単位	Kg-CO ₂ /百万円	135.3	114.6	110.0
廃棄物の排出量	t	522.2	1,904.7	667.3
水の使用量、排水量	m ³	164.6	182.0	190.2

*環境活動取組期間は4月1日から翌年3月31日です。

*購入電力の排出係数は2015年関西電力調整後排出係数、0.496kg-CO₂/kwhを3ヶ年間固定とします

*化学物質の使用量は極微量の為、適正に管理します。

環境活動実施状況(事務所)

◆太陽光発電



◆ハイブリッド車購入



◆防災倉庫設置



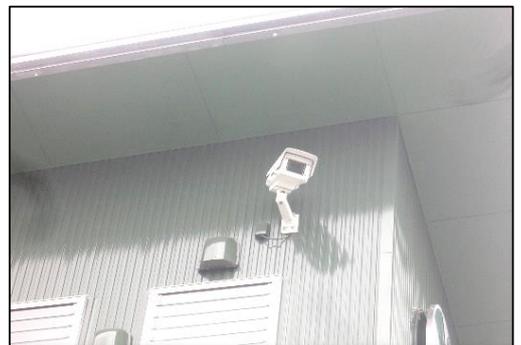
緊急事態対策



◆環境対策複合機



◆LED外灯増設



◆トイレ修繕



節水ボタン



◆扇風機の使用



◆空調服の着用



熱中症予防対策



環境活動実施状況(事務所)

◆ ゴミの分別



世界中の子供たちへ
ワクチンを届けよう！

◆ 高圧洗浄機の購入



◆ 裏紙の再利用



◆ ペーパーレス会議



◆ 井戸水の使用



◆ 土質試験室の改修



断熱・防音強化！



◆ コンテナ設置



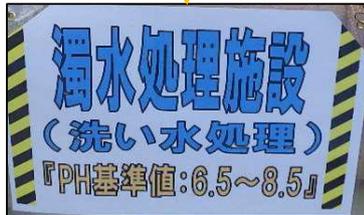
◆ 散水設備



環境活動実施状況(建設工事現場)

◆濁水対策

①濁水処理施設設置(洗い水処理) ⇒ ②アルカリ中和剤使用状況 ⇒ ③PH測定状況



アルカリ中和剤
使用状況



PH測定状況

◆土の再利用

現場周辺の路面を直してほしいという地元自治会からの要望で処分予定の土のう3袋分を再利用し荒れた箇所の整正を行いました！



◆粉塵対策



◆汚濁対策

「イダスト」使用状況



汚濁防止ネットの使用状況



◆ネオクローバー



◆エコスト



◆建設副産物の再利用



◆樹木の養生



環境活動実施状況(建設工事現場)

◆環境活動表示(現場事務所)



◆イメージアップ



◆ごみの分別



◆間伐材の再利用



◆排ガス対策型・低騒音型重機



◆アイドリングストップ機能付き重機

◆熱中症対策キット



◆AED・薬箱の常備



◆エコキャップ運動



環境活動実施状況(地質調査現場)

◆泥水飛散対策・騒音対策(仮囲い)



◆泥水処理



◆排ガス処理



◆低燃費・低排出ガストラックの導入



◆ウォーターリサイクル工法



◆低騒音型発電機



緊急事態発生訓練

消火避難訓練(事務所)

事務所内の敷地にて、消火器の使い方、火災発生時の対処方法を学びました！



油漏れ対策訓練(現場)

削孔機械からの油漏れを想定した訓練を実施しました！

オイルマットの使用状況

土のう作製・土のう積

土のう積・吸着マット



現場技術研修会

①川合千田線 / ②国道306号工区2 の二つの現場にて現場説明及び現場見学、安全パトロールを実施しました！



社内外活動

➤ 健康ヨガ



月に2回、ヨガインストラクターの先生に来ていただき肩こりや腰痛の改善など社員の要望を取り入れたストレッチなどの健康推進活動を実施しています！

➤ 安全大会



≪ 2019年6月に開催した安全大会にて ≫
座学では「働き方改革」や「パワーハラスメント」について学びました。

➤ 油漏れ事故対応訓練



外部講師の方の指導の下油漏れを想定し、実際に使用してみました！

➤ フルハーネス着用講習



高所作業での着用が必須となるフルハーネスを実際に試着してみました！

地域の環境保全活動(地域貢献)

美知メセナ活動の実施

県道の地域清掃の実施 (毎月1回)



県道草津伊賀線の
ゴミ拾いや清掃・除草等を
毎月1回実施しています!!

甲賀市まち美化活動の実施

市道の地域清掃の実施 (毎月1回)



市道池田中央線の
ゴミ拾いや清掃・除草等を
毎月1回実施しています!!

建設現場の地域貢献活動の実施



現場周辺地域の
ゴミ拾いや清掃・除草等を
に参加しています!!

今年度は滋賀県建設業協会 甲賀支部の地域貢献活動として、
小学校のグラウンド整備を実施しました!!



当社は道路の凍結時期(12月~3月)において、
滋賀県要請時に凍結防止剤の散布を行い、
未然にスリップ事故等を防止しています!!

雪
寒
対
策



表彰関係

【第22回 滋賀県優良工事 表彰式】

①琵琶湖環境部長賞 / ②土木部長賞

①平成28年度 0国債 第52号 復旧治山工事

②平成28年度 第B121-5号 国道367号 補助道路修繕工事



平成30年度 第22回滋賀県優良工事表彰
平成28年度 0国債 第52号 復旧治山工事



平成30年度 第22回滋賀県優良工事表彰
平成28年度 第B121-5号 国道367号補助道路修繕工事



令和元年度 建設業安全衛生大会 事業者賞

平成29年度 第S11-10号 国道367号単独道路補修工事



令和元年度 建設業安全衛生大会 事業者賞

平成30年度 第B132-1号 大津南郷宇治線補助道路修繕工事



平成30年度 建設業安全衛生大会 事業者賞

平成28年度 第T731-4号 葛籠尾崎大浦線補助道路修繕工事



エコアクション21 継続10年取組表彰(平成29年度)



環境実績グラフ(2007年～2019年)

